

「手紙と映画」ほど魅力的なテーマは他にありません。手紙は映画の表現手段として、主人公の内面を客観化して示します。そしてそれは時間的な隔たりと遅延によって必ずや優れたドラマを作ります。時代とともにその役割と形態を変えていく「手紙」の現在を見たいものです。

田辺秋守

[日本映画大学 教授(哲学)]



日本映画大学
学生企画上映ホームページ

タイムテーブル

やむを得ない事情により、上映スケジュールの一部またはすべてが中止になる可能性や、座席数に制限を設ける場合があります。お出かけの際は、川崎市アートセンターホームページ、または直接お電話にてご確認ください。

5.14 [金]	5.15 [土]	5.16 [日]	5.17 [月]
14:25 キサラギ 108分	14:10 海角七号 君想う、国境の南 130分	14:10 ももへの手紙 120分	12:00 めぐり逢わせのお弁当 105分
16:45 配達されない三通の手紙 131分	16:50 自由が丘で67分 終映後トーク 西森路代 [ライター] × ハントンヒョン [日本映画大学准教授(社会学)]	16:40 ヴァイオレット・エヴァーガーデン 外伝 -永遠と自動手記人形- 90分	14:15 手紙は憶えている 95分 16:20 ゴッホ 最後の手紙 95分

●各回入替制・整理券番号順入場・自由席・立見不可

一般・シニア・学生：1,100円
アルテリオシネマ会員：1,000円(ポイント対象外)

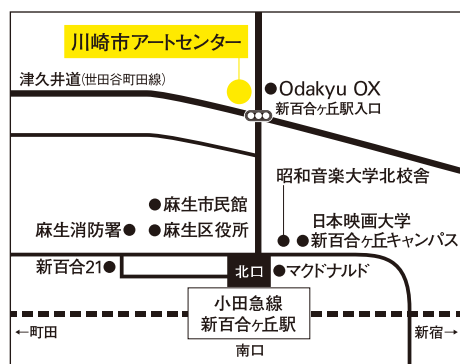
●アルテリオシネマ招待券はご使用になれません

[会場] 川崎市アートセンター

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1 TEL:044-955-0107

●駐車場はございません

川崎市アートセンター アルテリオ映像館 <https://kac-cinema.jp>
日本映画大学 www.eiga.ac.jp



アルテリッカしんゆりのコロナ感染防止対策

- 定期的に会場の換気、消毒を行います。
- スタッフ・出演者の健康管理を徹底しています。
- 舞台配置・演出などで感染防止のための対策をします。

お客様へのお願い

- 消毒、検温にご協力ください。
- 体調に不安のある方は来場をご遠慮ください。
- 会場内ではマスクを着用し、大声での会話をお避け下さい。

その他各関係ガイドラインに則り対応しますのでご協力をお願いします。

www.eigaac.jp/eigadaifes



キサラギ
配達されない三通の手紙
海角七号 君想う、国境の南
自由が丘で
ももへの手紙
ヴァイオレット・エヴァーガーデン 外伝
-永遠と自動手記人形-
めぐり逢わせのお弁当
手紙は憶えている
ゴッホ 最期の手紙

日本映画大学 学生企画上映会

手紙と映画

～拝啓、スクリーンの前のあなたへ～

5.14 [金] — 17 [月]

[会場] 川崎市アートセンター アルテリオ映像館

主催：日本映画大学 上映企画ワークショップ 共催：川崎市アートセンター/川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり) 2021 実行委員会/川崎市/川崎市教育委員会
後援：「音楽のまちかわさき」推進協議会/NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり/「映像のまちかわさき」推進フォーラム
上映協力：ロングライド/ピタース・エンド/マガザム/ショウゲート/松竹/アズミック・エース/角川映画/京都アニメーション/バルコ



手紙と映画

～拝啓、スクリーンの前のあなたへ～

5.14 [金] — 17 [月]

[会場] 川崎市アートセンター アルテリオ映像館

5.17 [月] インド+欧米 Day

めぐり逢わせのお弁当

12:00



監督：リテーシュ・ボトラ
出演：イルファーン・カーン、ニムラト・カウル、
ナワズッディーン・シッディキー
2013/インド/アメリカ/ドイツ/フランス/105分/シネスコ/DCP
©AKFPL, ARTE France Cinéma, ASAP Films, Dar Motion Pictures, NFDC, Rohfilm — 2013

夫婦関係が上手くいっていないイラは、夫の愛情を取り戻すために美味しいお弁当を手作りしてダッパワーラー（弁当配達人）に届けて貰うことに。しかし、そのお弁当が手違いにより、早期退職を控えたサージャンの元に届けられてしまう。返ってきた空の弁当箱に喜ぶイラだが夫の反応に違和感を感じ、次の日お弁当箱に手紙を入れて再びサージャンの元へ配達させる。その日からイラとサージャンの文通が始まる。(西園)

手紙は憶えている

14:15



監督：アトム・エゴヤン
出演：クリストファー・ブラマー、マーティン・ランドー、ブルーノ・ガンツ
2015/カナダ/ドイツ/95分/ビスタサイズ/DCP
©2014, Remember Productions Inc.

認知症で介護施設で暮らすゼヴは、同じ施設にいる友人マックスから1通の手紙を渡される。手紙には、2人はアウシュビッツ収容所からの生還者で、君は我々の家族を殺したナチスの兵士を探し出して復讐すると誓った、と書かれていた。手紙と微かな記憶を頼りにゼヴは旅に出るが、そこには衝撃の真実が待ち受けていた。(高橋)

ゴッホ 最期の手紙

16:20



監督：ドロタ・コビエラ、ヒュー・ウェルチマン
キャスト：ロベルト・グラチーク、ダグラス・ブース、ジェローム・フリン
2017/ポーランド/イギリス/アメリカ/95分/DCP
©Loving Vincent Sp. z o.o./Loving Vincent Ltd.

62,450枚の油絵を繋ぎ合わせたアニメーション映画であり、唯一無二の表現技法で描かれたのは、ゴッホという狂人、好色家、天才といった様々なレッテルが貼られた芸術家の生涯とその死であった。亡くなったゴッホが遺した一通の手紙を巡って、その死に隠された不可解な事実が明らかになっていく。(王)

日本映画大学の3年生が受講する「上映企画ワークショップ」では、学生たちがテーマを決めて上映会の企画を練り、作品選定、ゲスト交渉、広報宣伝なども自ら手がけ、総仕上げとして川崎市アートセンターで上映会を開催しています。これまで毎年2月に「団地」「夫婦」「親子」「ディストピア」「ライブ」といったテーマの特集上映を行ってきましたが、今回からアルテリッカの一環として5月に開催することになりました。お題は「手紙」。劇中で手紙が効果的に使われる9作品が並びます。お楽しみください。

日本映画大学 教授・映画学部長
東京国際映画祭シニア・プログラマー

石坂健治

5.16 [日] アニメ Day

ももへの手紙

14:10



監督：沖浦啓之
声の出演：美山加恋、優香、西田敏行
2012/日本/120分/ビスタ/DCP
©2012『ももへの手紙』製作委員会

小学6年生のももは、噂して仲直り出来ず、その日に事故で亡くなった父親の残した「ももへ」とだけ書かれた手紙を持って、母親のいく子と共に瀬戸内の小さな島に移り住む。父が亡くなったことを受け入れられず、島の人となかなか打ち解けられずにいたももの前に、イワ、カワ、マメという3匹の妖怪が姿を現す。沖浦啓之監督が7年かけて制作した、笑って泣けるハートフルなアニメーション映画。(西園)

ヴァイオレット・エヴァーガーデン 外伝

16:40



監督：藤田春香/キャスト：石川由依、寿美菜子、悠木碧、子安武人、内山昂輝、遠藤綾
2019/日本/90分/シネマスコープ/DCP
© 藤佳奈・京都アニメーション/ヴァイオレット・エヴァーガーデン製作委員会

日本のみならず世界中で大きな反響を得た『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』。代筆を通して相手の心の奥底にある素直な気持ちに触れるヴァイオレット・エヴァーガーデンと大切なものを守るために、自分の未来を売り払ったイザベラとの物語。二人の少女の出会いが、別々に選んだ未来を結びつけていく。(須藤)

分のために書いてくれたんだと温かい気持ちになる。さらに、携帯電話での連絡が当たり前となり、単純作業となっている世の中で、手紙を書くという行為はある意味古き良き文化を体験できることではなかるうか。あえて手間をかけて、時間をかけることによって自分の想いを伝えられるし、相手の想いも伝わってくる。手紙は私たち人間と同じく色々な感情を持っている。喜びだったり悲しみだったり、時には怒りだったり。でもそれは、私たち人間の手によって感情が生まれるのであり、元々手紙というのは無感情なものである。その無感情な手紙に私たちが手書きで命を吹き込むことにより感情豊かな手紙というものが生まれるのだ。一通だけでもいい。紙とペンを持って机に向かう時間を楽しんでほしい。今だからこそ、そんな奥ゆかしい「手紙文化」に彩られた映画たちにもういちど会いたい。

企画メンバー： 王天禹、上岡玄、篠田君明、
須藤瑞希、高木小春、高橋実奈

5.14 [金] 日本映画 Day

キサラギ

14:25



監督：佐藤祐市
出演：小栗旬、コースケ・サンタマリア、小出恵介、塚地武雅、香川照之
2007/日本/108分/アメリカンビスタ/35mm
©2007『キサラギ』フィルムパートナーズ

不可解な自殺を遂げたマイナーアイドル・如月ミキの一周忌にファンサイトを通じて集まった5人。思い出話で大いに盛り上がるはずだったが、「彼女は殺されたんだ」という言葉を境に彼らはミキの死の真相を巡って怒濤の推理を展開していく。果たして、5人のたどり着いた真相とは、個性豊かなキャストで送るミステリーコメディ作品。(上岡)

配達されない三通の手紙

16:45



監督：野村芳太郎
出演：栗原小巻、小川真由美、松坂慶子、片岡孝夫、竹下景子、渡瀬恒彦、佐分利信
1979/日本/131分/ビスタサイズ/35mm
©1979 松竹株式会社

原作は米国の推理作家エラリー・クイーンの小説『災厄の町』。脚本は新藤兼人、監督は野村芳太郎、撮影は川又昂がそれぞれ務めた。とある上流家庭で起きた三姉妹が絡む殺人事件を描いた作品。ある日発見された日付の違う3通の手紙…これは一体。「犯人捜し」のスリルとサスペンス。(高木)

EVENT 5.15 [土] 『自由が丘で』終映後トークショー

西森路代 [ライター] × ハン・トンヒョン [日本映画大学准教授(社会学)]

※3月に『韓国映画・ドラマ — わたしたちのおしゃべりの記録2014～2020』(駒草出版)を刊行した共著者おふたりが登場!